



こんにちは！認知症地域支援推進員の^{ほうた}寶田です。

今回は認知症の初期症状について紹介します。

始めに認知症の人とそうでない人との境界線はとても曖昧で、認知症は進行が進むにつれ、対応が難しくなります。認知症の初期症状を把握しておくことで症状に気づき、結果的に症状の軽減や改善、予防などにつながります。

認知症初期の症状

【物忘れ】

- 同じことを何度も話したり尋ねたりする。
- 物をよく無くす。
- 約束を忘れてしまう。

些細な物忘れから始まることが多く、加齢によるものなのか判断しにくい特徴があります。

【理解力・判断力の低下】

- 買い物の支払いができなくなる。
- 今までできていた家事や料理ができなくなる。
- 会話の際に話についていけず理解が難しくなる。

料理や家事の順序が曖昧になったり、簡単にできていた計算ができなくなったりします。

【集中力の低下】

- 新聞や本を読まなくなる。
- 料理や家事を途中でやめてしまう。
- 今まで普通にできていたことでも時間がかかる。

物事に取り組む意欲がなくなりすぐに飽きてしまうなどの症状がみられます。周囲の会話やテレビの音などで集中力が途切れてしまうことも…。

【人柄が変わる】

- 怒りっぽくなり、大声をあげる。
- 暴言を吐いたり、暴力をふるう。
- 急に落ち込む。

感情を制御する機能が低下し、自分で感情をコントロールすることができなくなります。思うままの感情で相手に接してしまうなどの症状がでることも。

以上のような点に注意して認知症の初期症状を早期に発見し、専門医の受診や本人や家族の想いに寄り添える適切な支援につなげることができれば、認知機能の維持と進行を遅らせることができます。

“最近、物忘れが気になる”など心配や不安があったらお気軽にご相談ください。

相談窓口・活動内容のお問い合わせ

福祉介護課 地域支援係
☎ 0986-76-8807

曾於市地域包括支援センター
☎ 0986-76-8824

